

## 中央大学特定課題研究費 一研究報告書一

所属	文学部	身分	教授
氏名	松田 美佐		
NAME	MATSUDA Misa		

中央大学特定課題研究費による研究期間終了に伴い、中央大学学内研究費助成規程第15条に基づき、下記の通りご報告致します。

## 1. 研究課題

(和文) コロナ禍を経た社会における趣味をめぐる移動と人間関係

(英文) Mobility and personal networks among people with hobbies in a society after the COVID-19 pandemic

## 2. 研究期間

2022年度 ~ 2023年度

## 3. 研究の概要 (背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度)

(和文)

本研究は近年増加している「遠征」——趣味を契機とする移動——の実態を、質問紙調査から明らかにすることで、グローバルに活発化するモビリティの特徴を探り、それを促進する趣味や人間関係、ソーシャルメディアの可能性を検討することを目的とするものである。具体的には、申請者が2018年から進めてきた「遠征」に関する研究を踏まえ、2024年1月にウェブ上で15-69歳の女性を対象とした質問紙調査をおこない、居住地によるモビリティの違いや人間関係の変容を捉えるだけでなく、移動や大規模イベントの制限というコロナ禍での経験を経た、人々のモビリティに対する意識の変化を把握し、今後も加速化することが予想されるモビリティの活発化について、その特徴や課題を検討した。結果は分析中であるものの、遠征する人々のデモグラフィックな特徴や推し活との関係性、人間関係の特徴、さらには、メディア利用やメディアイベント、旅行、ソロ活などへの参加との関係性を、中年女性に焦点をあてて検討した論文を『中央大学社会科学研究所年報』28号に投稿したほか、口頭発表や論文として公表する予定である。

(英文)

With the aim of exploring the characteristics of globally active mobility and examining the potential of hobbies, personal networks, and social media as facilitators of such mobility, this study used a questionnaire survey to determine the actual conditions of "Ensei" (Fan tourism) that have been on the rise in recent years.